



政府統計

報道関係者 各位

平成 29 年 6 月 27 日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

室長 中村 年宏

室長補佐 田野 淳子

新井 信義

専門官 神棒 一貴

(担当・内線) 世帯担当 国民生活基礎統計第一係(7587)

所得・貯蓄担当 国民生活基礎統計第二係(7588)

健康・介護担当 国民生活基礎統計第三係(7591)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2974

平成 28 年 国民生活基礎調査の結果

厚生労働省はこのほど、「平成 28 年国民生活基礎調査」の結果を取りまとめましたので公表します。

国民生活基礎調査は、保健、医療、福祉、年金、所得などの国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画、運営に必要な基礎資料を得ることを目的に、昭和 61 年を初年として 3 年ごとに大規模な調査を、その間の各年は調査事項と対象世帯の少ない簡易な調査を実施しています。

平成 28 年は、11 回目の大規模な調査の実施年に当たり、6 月に世帯票・健康票は約 29 万世帯、介護票は約 8 千人、7 月に所得票・貯蓄票は約 3 万世帯を対象として調査し、世帯票・健康票は約 22 万世帯、介護票は約 7 千人、所得票・貯蓄票は約 2 万世帯を集計しました。

なお、熊本地震の影響により、熊本県については調査を実施していないため、今回の結果は熊本県分を除いて集計しています。

【調査結果のポイント】

1 世帯の状況

- ・高齢者世帯は 1327 万 1 千世帯 <1161 万 4 千世帯>、全世帯の 26.6% <23.2%>と世帯数、割合とも過去最高（3 頁 表 1）

注：高齢者世帯は、65 歳以上の人のみか、65 歳以上の人と 18 歳未満の未婚の人で構成する世帯

2 所得等の状況

- ・1 世帯当たり平均所得金額は 545 万 4 千円 <537 万 2 千円>と増加（10 頁 表 6・図 10）
- ・相対的貧困率は 15.7% <16.1%>で対 24 年 0.4 ポイントの低下、
子どもの貧困率は 13.9% <16.3%>で対 24 年 2.4 ポイントの低下（15 頁 表 10）

注：平均所得金額及び相対的貧困率を算出している所得は、調査前年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間の所得である。

- ・生活意識が「苦しい」とした世帯は 56.5%で 2 年連続低下（17 頁 図 17）

注：生活意識は、5 段階の選択肢であり、「苦しい」は「大変苦しい」「やや苦しい」の合計

3 健康の状況

- ・がん検診の受診率はいずれも上昇傾向（27 頁 図 32）
胃がん 男 46.4% <45.8%>、女 35.6% <33.8%>
肺がん 男 51.0% <47.5%>、女 41.7% <37.4%>
大腸がん 男 44.5% <41.4%>、女 38.5% <34.5%>
子宮がん(子宮頸がん) 女 33.7% <32.7%>
乳がん 女 36.9% <34.2%>

4 介護の状況

- ・同居の主な介護者と要介護者等がいずれも 65 歳以上の割合は、54.7% <51.2%>で
上昇傾向（31 頁 図 37）

< >は、平成 25 年調査（前回の大規模調査）の結果である。

※詳細は、別添概況をご覧ください。